

定は予定にして確定にあらず」とまるで開き直っているみたいです。」

聞「それでは招致委員会の方たちは、毎日いったい何をしているのでしょうか？」

福「東京都の招致本部と一緒に『オリンピック賛同の署名用紙』を東京都内の方には町会自治会ごとに回覧板と一緒にまわしたり、お願いが来たりしたかも知れませんが、そんな事らしいです。その他には外国に行って東京への協力依頼をするとか。」

聞「それでは招致本部は、その後の始末をしているのですか？」

福「そういう面はあるでしょうね。招致本部というのは東京都のもので、税金で動くものです。そこにいる職員の数が増え続けてきて、最初は2006年度、2億6500万円だったのが、今、8億3100万円に増えて、合計で17億円を超えています。人件費だけで、たった3年で17億円です。」

聞「繰り返しのなってしまうんですが、これはオリンピックの『開催そのもの』とは別の、招致のみの、しかも人件費のみ、ですよ。」

福「そうです。湯水のごとくです。これで開催が決定したら、この何百倍、何千倍の規模で同じことが行われてしまうでしょう。ゾッとしますね。」

もしも東京での開催が決定したら、、、

福「晴海の埋め立て地は、非常にグズグズの地盤の危ないところです。中国でも地震が大変、東北地方でも地震がありました。そういう中で東京都の埋立地なんかにオリンピックのメインスタジアムを建てようとしています。しかもこれは国が補助金を出さないって言っているようなところに、最初は2900億円という予算が、既に3000億円を超える話になっているというのは、まだ建っているわけではありませんけれども、憂慮すべき事態です。これからも経費がど

こまで膨れ上がるかわからない状況で、メインスタジアムと選手村とマスコミの人たちの宿泊施設が建ちます。そういうふうには東京都は、晴海に持って行くことでコンパクトにできる、と言っていますが、地震が来たときに一番危ないところに外国からお客様を呼び寄せて、しかも十万人規模の施設ですからそういう人たちをどうやって守り切るのだろうか、という心配もあります。」

聞「地震というのは、いわゆる万が一の場合の心配事項ですが、それ以外の心配事項はありますか？」

福「世界の4つの候補地の中で東京都が第1位で通った理由としては、施設がコンパクトというよりも、電車も何も東京は集中していますので交通事情が良く、ホテルも乱立しているということがあります。ですから交通施設もホテルも、新たなものはあまり作らなくても間に合うということはあるんです。」

聞「そういう利点はあるんですね。」

福「でもちょっと待って下さい。現在の東京の交通事情、どうでしょうか？朝夕のラッシュ時にはぎゅうぎゅう詰め、ラッシュ時以外の例えば休日の日中でも、かなり混んでいる電車もあります。道路の渋滞だって珍しくありません。ホテルもかなりの部屋が埋まっています。そうでなければ営業が成り立ちませんね。そのような東京の交通や宿泊のサービスは、現状でかなりの部分がすでに“消費”されているわけです。仮にそこにオリンピックが来て、電車や道路が混んできたときに、普段東京で生活している人たちがどれだけ自由に東京都内を走れるか、車も含めてどれだけ走れるかということになると大いに疑問です。」

聞「そうか、そうですよね。ちょっとしたイベントが開催されるだけでも、周囲の交通事情が混乱することがありますね。」

次号につづく